

東京メトロは、現業社員の熱中症対策を強化します

～ポロシャツ制服・Tシャツ作業服の導入など、働きやすい職場環境づくりを推進～

東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：小坂 彰洋、以下「東京メトロ」）は、現業社員の熱中症対策として、ポロシャツ制服の試験導入やTシャツ作業服の導入、「Coke ON®ドリンクチケット」を活用した現業社員向けの飲料配付など、働きやすい職場環境のさらなる整備に向けた各種施策を順次実施します。

東京メトロでは、近年の気温上昇による猛暑のなか、鉄道運行を支える社員を熱中症等の健康被害から守るため、設備面も含めた働きやすい環境整備を積極的に進めています。今回、これらの設備面での対応に加え、被服や飲料配付等のソフト面での対応を実施することで、社員の健康確保と働きやすい職場環境の整備に向けた取り組みを強化し、鉄道の安全・安定輸送の実現に寄与してまいります。

1 被服による熱中症対策

(1) 運輸職用ポロシャツ制服の試験導入※

2026年6月30日（火）から当面の間、有楽町線新木場駅、辰巳駅、豊洲駅、月島駅及び新富町駅の駅係員を対象に、通気性や速乾性に優れたポロシャツ制服の試験導入を実施します。カラーは明るめのものと暗めのものの2色展開とし、左袖に当社のロゴをデザインしております。

空調ベスト（後述）と組み合わせることで、更なる熱中症対策を図ります。

※従来型のシャツ制服又はポロシャツ制服を社員自身が選択し着用します。

運輸職用ポロシャツ



(2) ファン付き空調ベストの導入

2024年から、駅係員や乗務員、技術系現業社員を対象に、ファン付き空調ベストを導入しております。これまでに約8,000着を導入しており、対象社員約6,000人に対して原則1人1着を配付することで、服内に風を循環させることで体温上昇を抑え、熱中症リスクの低減を図っております。社員アンケートでは、「涼しく快適に業務を行うことができ、集中力の向上につながった」という声も寄せられており、猛暑下における作業負担軽減や安全性向上に寄与しています。

ファン付き空調ベスト（左・運輸職社員用 右・技術職社員用）



(3) 技術職用Tシャツの導入

2024年から技術系現業社員を中心にTシャツ作業服を導入しております。通気性や速乾性に優れた素材を採用するとともに、作業時の安全性にも配慮し、帯電防止機能を備えた仕様としており、空調ベストとの組み合わせによる熱中症対策効果の向上を図っています。2025年度までに約7,200着を試験導入し、社員アンケートでは約88%の社員が「熱中症対策としての効果を感じた」と回答しました。この結果を踏まえ、2026年度からは、半袖Tシャツ約8,600着を本導入し、対象社員約2,500人に対して所属の業務特性に応じて1人あたり2~4着を配付するとともに、長袖Tシャツについても約3,700着を試験導入し、対象社員約1,100人に対して1人あたり2~3着を配付することで、更なる熱中症対策を図ります。

技術職用半袖Tシャツ及び長袖Tシャツ



2 社員への飲料配付

・「Coke ONドリンクチケット※」を活用した社員への飲料配付

2026年6月15日(月)から9月14日(月)までスマートフォンアプリを活用した「Coke ONドリンクチケット」による飲料配付を実施いたします。

本施策では、対象社員にCoke ONのデジタルチケットを配付し、現場作業時や巡回作業先においても、付近に設置された対応自動販売機で、各自の業務状況や体調に応じて適時適切に飲料を取得できるようにいたします。このことで、こまめな水分補給を可能とし、熱中症の予防及び労働災害の未然防止につなげてまいります。

※ 「Coke ON」はThe Coca-Cola Companyの登録商標です

【施策詳細】

対象社員	技術系(車両・土木・建築・電気)現業社員 約2,000人
配付枚数	夏季期間の出勤日数あたり1枚分を配付(総配付枚数約13万枚)